

疾患別診療計画書

鼠径ヘルニアにて手術を受ける方へ

腰椎麻酔

	項目	入院日 手術日 術前	手術日 術後	術後第1病日	術後第2病日～退院可能		
準備するもの	書類	手術承諾書を記載し看護師に渡して下さい。			退院証明書をお受け取り下さい。		
治療	処置	手術	入院時にネームバンドを右手首に付けていただきます。 手術側の確認(左・右)をします。		退院前に医師が、傷の透明な絆創膏をはがします。		
		清潔	手術する部位の毛は必要時、手術室で剃ります。 場合により、麻酔をする部分(背中)の毛を剃ります。 ご自身の前開きのパジャマ又は手術衣に着替えていただきます。		透明な絆創膏は水を通さないため、 シャワーを浴びることが出来ます。 (頭痛のある方はお控え下さい)	退院後は入浴可能となります。 (頭痛のある方はお控え下さい)	
	薬剤	内服	持参薬を看護師に渡して下さい。			腹圧の上昇を防ぐため、便秘気味の方は、緩下剤を処方いたします。担当医師にご相談下さい。	
		点滴	昼食が摂れないため、点滴を施行致します。				朝、点滴を抜去いたします。
		抗生物質	抗生物質(化膿止め)の点滴を手術室で行います。				
		鎮静・鎮痛剤					痛みのある場合は看護師にお伝え下さい。
	検査	外来で済ませてありますので、入院後はありません。					
食事	手術が夕方以降になりますので、朝食を軽く済ませて下さい。 点滴が始まるまでは、水分を摂っていただいてもかまいません。 食事はお控えください。	手術室から帰室後2時間で飲水のみ可能となります。	術前と同じ食事を朝からお出しします。				
安静度	特に制限はありません。	手術後はベット上安静ですが、寝返りは出来ます。麻酔が切れていれば4時間後トイレ歩行のみ行えます。	朝から徐々に歩いていただきます。	特に制限ありませんので、徐々に歩いてください。 (頭痛のある方は看護師に伝えてください)			
排泄	室内トイレをご利用下さい。	帰室後4時間以内はベット上で排泄して頂きます。麻酔の影響で排尿が困難な場合は、管で取ることもあります。	 室内トイレをご利用下さい。 				
説明・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が入院生活、手術に関する説明を致します。 ・薬剤等にアレルギーのある方は看護師へ伝えてください。 			<ul style="list-style-type: none"> ・入院中、薬剤師による薬の説明があります。 ・便秘を予防するため十分に水分をとってください。 ・頭痛・嘔気がある場合は看護師へ伝えてください。 ・麻酔の影響で頭痛が起こることがあります。なるべく横になって安静にし水分を摂ることで改善します。 			
退院後の治療計画 退院後の療養上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・抗凝固剤を内服していた方は、退院までに再開時期をお伝えします。 ・創は、糸を埋め込むように縫っていますので抜糸は不要です。 ・創が赤くなったり、腫れたりした場合は外来受診して下さい。 ・退院後は適度な運動により便通を整えて下さい。 ・退院後約1ヶ月は腹圧のかかる動作はお控え下さい。 ・退院は、傷の状態が落ち着いていれば、術後2日以降に可能となります。 						